

2022年度ディプロマポリシー達成度調査

【2022年度 調査実施概要】

1. 対象者：学部4年生
2. 実施方法：manabaのアンケート機能
3. 調査時期：2022年12月～2023年1月

【回答数・回答率】

年度 学科	2020年度	2021年度	2022年度		
	回答率	回答率	回答数	未回答数	回答率
経済	64%	50%	102	143	42%
経営	59%	63%	75	90	45%
社会	74%	62%	77	58	57%
国際観光	73%	67%	59	70	46%
流通情報	57%	54%	70	71	50%
ビジネス法	57%	61%	27	66	29%
自治行政	56%	59%	36	81	31%
スポーツ健康科学	37%	58%	69	132	34%
スポーツコミュニケーション	54%	61%	21	80	21%
全学	59%	58%	536	791	40%

【経済学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や能力、態度	24%	51%	24%	1%	1%
2. 自分で考え、周囲の人とコミュニケーションを図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度	38%	41%	17%	3%	1%
3. 豊かな教養と社会の規範を身につけ、健全で充実した社会活動を行う知識や能力、態度	33%	49%	14%	3%	1%

平均 DP の推移（充分身についた 4～全く身につかなかった 0 の加重平均）

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	2.78	2.83	2.85	2.95
DP2	3.09	3.02	3.01	3.13
DP3	3.06	3.07	3.01	3.11
平均	2.98	2.98	2.95	3.06

【経営学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 新しい商品やサービスのイノベーション特性を抽出できる。	20%	49%	24%	3%	4%
2. 営利または非営利の組織の一員として専門知識を適用し職務を遂行できる。	24%	47%	20%	8%	1%
3. 多様で異なる価値観、役割および職種の顧客や同僚と協働できる。	37%	37%	20%	1%	4%
4. 経営計画、商品開発や経営分析において自主的に取り組める。	31%	47%	17%	4%	1%
5. 企業人として成果を追求しながら、社会人として継続的に学習できる。	37%	48%	12%	0%	3%
起業やマーケティングや会計などの経系専門職に従事できる。	23%	49%	16%	7%	5%
グローバルビジネスに求められる英語プレゼンテーションができる	12%	16%	28%	19%	25%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	2.74	2.89	2.69	2.79
DP2	2.67	2.85	2.71	2.84
DP3	2.95	3.26	3.06	3.03
DP4	2.86	2.91	2.79	3.01
DP5	2.86	3.25	2.89	3.17
平均	2.81	3.04	2.83	2.97

【社会学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）	29%	51%	17%	3%	1%
2. 歴史、哲学、文学、自然科学などの基礎的教養科目を幅広く受講し、多様な視点からものごとを判断する能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢	27%	53%	19%	0%	0%
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）	31%	45%	17%	5%	1%
4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）	31%	51%	14%	4%	0%
5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少人数教育）	34%	53%	10%	3%	0%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	2.87	2.80	2.93	3.03
DP2	2.87	2.96	2.91	3.08
DP3	2.90	3.01	2.80	3.00
DP4	2.93	2.98	2.99	3.09
DP5	2.96	2.99	3.00	3.18
平均	2.90	2.95	2.93	3.08

【国際観光学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 社会学的方法を基盤に実証的、実践的に観光を理解する。	34%	56%	8%	2%	0%
2. グローバル化した現代の旅行業、その他観光産業において活躍できる英語コミュニケーション能力を身につける。	17%	39%	25%	15%	3%
3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つにおいて、その現場で活躍できるレベルで観光を専門的に理解する	17%	49%	20%	12%	2%
4. 旅行業等の観光産業において有用な資格や技能を身につける。	12%	31%	27%	15%	15%
5. 観光の仕事現場や、その他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動できる人材を育成する。	25%	58%	15%	1%	1%
6. 豊かな教養を基盤に、生涯に渡り主体的に考え行動できる社会人としての姿勢を身につける。	42%	49%	5%	3%	0%

平均 DP の推移

年度	2020	2021	2022
DP1	3.28	3.14	3.22
DP2	2.73	2.58	2.51
DP3	2.80	2.68	2.66
DP4	2.16	2.22	2.08
DP5	3.11	2.91	3.05
DP6	3.30	2.96	3.31
平均	2.90	2.75	2.81

【流通情報学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 商流・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能	29%	60%	7%	3%	1%
2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力	24%	47%	19%	9%	1%
3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力	30%	53%	13%	3%	1%
4. 豊かな教養や社会性、国際性、コミュニケーション能力	31%	49%	13%	6%	1%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	3.09	3.15	3.20	3.11
DP2	2.91	3.06	2.84	2.84
DP3	3.10	3.15	3.01	3.07
DP4	3.09	3.06	3.05	3.03
平均	3.05	3.11	3.03	3.01

【ビジネス法学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえな	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. さまざまな問題の解決に必要な法的思考能力（リーガル・マインド）	15%	70%	11%	0%	4%
2. 企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する知識	11%	59%	19%	4%	7%
3. グローバル時代に対応した法知識と能力	11%	44%	26%	15%	4%
4. 幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力	19%	56%	11%	11%	4%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	3.02	3.02	2.79	2.93
DP2	3.05	3.09	2.73	2.63
DP3	2.77	2.94	2.56	2.44
DP4	2.93	2.98	2.89	2.74
平均	2.94	3.01	2.74	2.69

【自治行政学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識	36%	50%	14%	0%	0%
2. 公務員・NPO 職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力	31%	36%	31%	3%	0%
3. 会得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力	25%	53%	19%	3%	0%
4. 幅広く奥行きのある教養および豊かな人間性に裏打ちされたコミュニケーション能力	42%	36%	19%	3%	0%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	2.78	2.94	2.85	3.22
DP2	2.85	2.80	2.71	2.94
DP3	2.72	2.95	2.86	3.00
DP4	3.00	3.03	3.06	3.17
平均	2.84	2.93	2.87	3.08

【スポーツ健康科学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるとともに、生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。（知識）	29%	55%	10%	4%	1%
2. 自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察し、自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。（技能）	29%	51%	14%	4%	1%
3. スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。（態度）	32%	36%	23%	6%	3%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	3.19	3.32	3.12	3.06
DP2	3.17	3.36	3.11	3.01
DP3	3.09	3.17	2.99	2.88
平均	3.15	3.28	3.07	2.99

【スポーツコミュニケーション学科】

	充分身についた	まあまあ身についた	どちらともいえない	あまり身につかなかった	全く身につかなかった
1. スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身につけている	48%	43%	5%	0%	5%
2. スポーツを通じて学習したコミュニケーション能力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる	43%	43%	10%	0%	5%
3. 「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる	48%	29%	14%	5%	5%

平均 DP の推移

年度	2019	2020	2021	2022
DP1	-	-	3.37	3.29
DP2	-	-	3.35	3.19
DP3	-	-	3.44	3.10
平均	-	-	3.39	3.19